

# Library information

# 図書館だより

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館 ○丹比 ☎072-937-2355 (月)休館  
 ○陵南の森 ☎072-952-2750 (月)休館 ○羽曳が丘 ☎072-957-5553 (月)休館  
 ○東部 ☎072-950-2002 (月)休館  
 ○古市 ☎072-958-0050 (月)休館 開館時間 10:00～17:30  
 ○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (月)休館 13:30～16:30 開館  
 全館休館 毎月最終水曜(12月を除く・祝日の場合は翌日)

●開館時間 10:00～18:00 (中央は平日 10:00～20:00 土日祝 10:00～18:00)

おはなし会(11月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	4日(土) 18日(土)	11:00～	一般	美味しい秋
	12日(日) 26日(日)	14:00～	特別展示	里親を考える
	18日(土)	15:00～	児童	たのしいあき
陵南の森図書館	5日(日) 12日(日) 25日(土)	11:00～	一般	しっぽりと楽しむ
	18日(土)	15:00～	児童	祝☆講演会開催! ～村上しいこさんの本～
	19日(日) (小さい子向き)	11:00～		
	19日(日) (少し長いお話を聞ける子向き)	11:30～		
東部図書館	8日(水)	10:30～	「ん」でおわる本	
羽曳が丘図書館	11日(土) 25日(土)	11:00～	秋を感じる本	
丹比図書館	25日(土)	10:30～	気になる 手にとる 本のPOP	
古市図書館	11月のおはなし会はあります。		一般	読書の秋!「冒頭DEえら本!第2弾!!」
	次回は12月3日(日)13:00から「クリスマスのおはなし会」		児童	HO!HO!HO!クリスマス★

## 陵南の森図書館40周年記念事業

### ◆村上しいこさん講演会

日時 11月5日(日)  
13:00～15:00 (開場 12:30)  
場所 陵南の森公民館 2階研修室  
定員 100人  
参加方法 陵南の森図書館にて入場整理券を配布しています(定員になりしだい終了)  
※当日、村上しいこさんの本を持参された方はサイン会に参加できます。

### ◆本でしりとり

期間 10月28日(土)～11月30日(木)  
本のタイトルでしりとりをしよう!どんな本でもOK、3冊つなげられたら成功!最初の1文字目は毎日変わるので何度でも挑戦してね。しりとりをした本を借りていただいた方にはプレゼントがあります!

### ◆ナイトライブラリー

日時 12月2日(土) 18:00～18:50  
定員 先着 20人  
(小学生以下は必ず保護者同伴のこと)  
申込 11月11日(土) 13:00～  
陵南の森図書館カウンターにて受付(電話不可)  
閉館後の、いつもとちがう図書館を体験してみよう!おはなし会もあるよ。

### ◇特別展示「里親を考える」

期間 11月1日(水)～11月28日(火) 場所 中央図書館  
「高鷲学園 with 里親」から提供していただいた、里親制度に関する本やパンフレットなどを展示します。(本は図書館内でご覧ください)

### ◇特集の本を借りてオリジナルグッズをもらおう!

期間 11月1日(水)～11月30日(木) 場所 中央図書館  
内容 中央図書館の特集本(一般特集・児童特集・ダルビッシュ有文庫・世界遺産コーナー・児童郷土資料)を借りた方に中央図書館オリジナルグッズをプレゼントします。

### ◇読書カードをもらってスタンプを集めよう★(古市)

期間 11月26日(日)まで実施中  
古市図書館で5冊本を借りるとスタンプを1つ押します。スタンプを10個集めるとプレゼントがあります。古市図書館で本を借りよう!

### ブックステーションはびきのコロセアム 休館のお知らせ

12月19日(火)、「大相撲羽曳野場所」開催のため、ブックステーションはびきのコロセアムは臨時休館させていただきます。

### ステーションライブラリー(古市駅・高鷲駅)を再開します

11月1日(水)より、コロナ禍で休止していた古市駅・高鷲駅のステーションライブラリーを再開します。どうぞご利用ください。  
 ■置いてある本は自由に持ち帰って読むことができます。読み終わったらもとの場所にお返しください。  
 ■冊数に限りがありますので、大量のお持ち帰りはご遠慮ください。  
 ■ステーションライブラリーに寄贈していただける本は、最寄りの図書館にお持ちくださるようお願いいたします。

## サラバボール

### 子ども家庭庁始動

子ども家庭庁は、「子どもがまんなかの社会を実現するために、こどもの視点に立って意見を聴き、こどもにとっていちばんの利益を考え、こどもと家庭の、福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るための子ども政策に強力なリーダーシップを持って取り組むこと」をモットーとして、4月から子育て支援、こども支援の中心となる国家プロジェクトとして本格的に業務が開始された。

これまで、こどもに関する政策は

厚生労働省(保育所や児童虐待)や内閣府(認定子ども園やこどもの貧困)などの複数の省庁が縦割りで担ってきたが、その縦割りの弊害を排して少子化対策、こども支援を進めていく。また、地方自治体、企業、NPOなどから積極的に人材を登用し、連携や政策立案の強化を目指していく。

子ども家庭庁には、「こども若者★いけんぷらす」という、こどもや若者が様々な方法で自分の意見を表明し、社会に参加することができる登録制の取り組みがあるが、今後、より多くの各地域のこどもが声を届けやすいネットワークの有り方など

検討していただきたい。また、こどもの支援は今も至急に組み込まなければならないことで、これまで大人が中心になってつくってきた社会を「こどもまんなか」社会へと作り変えていくための司令塔として十分にその役割を担ってもらい、子育てや少子化、児童虐待、いじめなどこどもを取り巻く社会問題の解決に取り組んでもらいたい。

そしてなにより、こどもたちの素敵な未来を創るには、大人もこどももすべての人が、「こどもまんなか」の意識を持つことが大切だと思う。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうざい  
羽曳野市人権啓発推進協議会